

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長 荻田 信幸	
健福-27	介護保険事業(特別会計)	☒ 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		☐ 法定受託事務	関連課	介護保険課
総合計画上の位置付け	分野	4-(1) 健康福祉	施策の方針	4-(1)-②健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	鎌倉市介護保険被保険者
意図	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるようにするため。
効果	市民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・介護方法の指導や被保険者の権利擁護のために必要な援助等、被保険者が地域において自立した日常生活を送れるよう支援するための事業を実施した。	
---	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	包括的支援事業・任意事業	配食サービス事業委託等	—	— / —	—	—	
				9,725 / 12,167	12,167	14,108	
		財源内訳	国県支出金	6,074 / 7,360	7,360	8,508	
			地方債	/			
			その他特定財源	3,651 / 4,807	4,807	5,600	
			一般財源	/			
		事業費の合計(千円)		9,725 / 12,167	12,167	14,108	
		人件費(千円)			6,836	9,352	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	22.5	2.6	2.8	0.9	1.2	
会計年度任用職員	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	包括的支援事業・任意事業	介護保険の被保険者のうち、在宅生活が困難な方を対象に必要な支援を行う事業であり、目標設定はなじまない。	高齢者が地域で自立した日常生活を送る支援を行うことで、健康長寿社会の構築に寄与している。	民間で提供されるサービスがある中、市が実施する事業として効果的に実施できる方法を検討する必要がある。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 民生委員、認知症サポーター等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充 ☐ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
配食サービス等の民間でも実施されている事業については、民間事業者との連携方法など検討しながら実施していく。権利擁護のために必要な援助を引き続き実施していくとともに、認知症施策については充実を図っていく。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--